

讃岐香川の様々な文化発展を応援します。

2001

文化通

冬

12月1日発行(季刊)



武者絵の扇が残るのは、讃岐と津軽と江戸くらい

青く澄みきった大空に舞う扇に魅せられて以来扇作りを続けて
こられた森武さんは、地元に伝わる武者絵の扇を復活させた。
絵柄のモチーフは意外な程少ないが、陽の光が透ける時の色に
こだわり、材料も吟味する。空に揚がった時の美しさが勝負だ。

特集 あなたが創る郷土の文化—財団の助成金に応募しよう！

茶事体験レポート—十月・名残りの侘びを楽しむ—「夕ざり」の茶事

好評連載 美藻庵点描／Oh! 茶Gal／喫茶居

12月から3月までの茶華道・イベント情報を掲載

財団の助成金に応募しよう！

中條文化振興財団の助成事業は、これまで様々な文化団体をサポートし微力ながら成果を納めてきた。それは、言うまでもなく助成の対象となつた方々の努力であり、行動の結果である。各々の活動に対し助成金の果たす役割というのは、言わばちょっと背中を押してあげる程度の事かもしれないが、それがこの事業の持つ本来の意義ではないかと考えたい。文化の発展には成果の発表とそれに対する評価の積み重ねが不可欠であると良く言われるが、そうした機会がひとつでも多くなればと期待している。

一、助成金交付基準（下記参照）

今年度九月十一日付の理事会で基準に若干の改訂が実施されました。わざりにいく部分もあるかと思いますので傾向と対策と言うか、少し解説を加えたいと思いますので、ぜひ参考にして下さい。とにかくまず申請をしないことには始まりません。

二、助成対象文化団体について

一般的に助成金というのは、ある程度実績のある団体を助成の対象とすることが多く、特に地方の場合など対象となる団体が実質的に傾寄つてしまふ例が多くあるように聞きますが、財団の場合は、新たな発掘や未分野の開拓といった活動を対象としているのでチャンスは公平です。ただし対象となるのは団体で、残念ながら個人の申請はできませんが、ある一定の目的の下に継続的に活動できそ

な新たな団体を結成できれば、可能となります。団体は、劇団や楽団のようなひとつ同じ目的に向って努力していくようなタイプばかりではありません。今流行の違うジャンルとのコラボレーションを定期的に行うのもひとつの方ではないかと思います。

芸術や文化というのは、たとえ伝統的な文化を継承していくような場合で

も、自由な発想や試みが阻害されるのでは发展も継続も望めないようにも思います。守るべき大事なものと、時代とのマッチングについて改めて整理していくような新しい試み等があります。

助成金申請の締切日は、平成十四年一月三十一日です。

とも自立して実行できる能力を持つ団体は言うに及ばず、その努力と実績で十分既成の助成金等が得られる判断があります。実際に限度の五年間継続して財団の助成を受けられ、みごとに自立された劇団では、その後もいろんなところの助成金が提供され、ますます活動の場が広がっています。審査委員会の方では内容と予算書

はもちろん、その事業の背景や位置といたところまで吟味して、より公平で正確な審査を目指す態勢になっております。事務局にも調査を十分に実施する事務局の調査が求められておりますので、助成金の申請についての詳細は、まず事務局にご来所頂きご相談下さるようお勧め申し上げます。

三、今後の審査の傾向について

助成は、公演とか展示会とか、あるいは、本の制作といった各団体が活

対する助成基準

6. 助成金の額

助成対象事業経費総額から、原則として次の経費を控除した額の2分の1の金額で30万円を限度とする。ただし、その額に1万円未満の端数がある場合は切り捨てるものとする。

- (1) 人件費（給料・賃金およびこれに付帯する経費）
- (2) 入場料
- (3) 国・県・市町等補助金

なお、積算した金額が3万円未満の場合は、助成をしないものとする。

7. 助成金の交付決定

財団は、提出期限までに提出された助成金交付申請書により、審査委員会を開催して、予算の範囲内で助成金の交付を決定し、理事会の承認を経て別紙助成金交付決定通知書（様式第2号）により、3月末までに申請団体に通知するものとする。

8. 事業報告の提出

助成金の交付決定を受けた団体が、該当事業を終了したときは、事業終了後20日以内に事業報告書及び決算書（様式第3号）並びに刊行物・ポスター・チラシ・プログラム等事業の実績を示す資料を財団に提出しなければならない。

9. 助成金の交付

助成金の交付は、原則として事業終了後、事業報告書及び決算書に基づいて行う。なお、助成対象経費が助成金交付決定時の予算を下回ったときは助成金を減額する場合もある。

附則 この要領は、平成13年9月12日から施行する。

平成十三年度

財団賞授与式

去る十月一日。財団創立記念日に第九回財団賞授与式及び第八回助成金交付団体認定証授与式が、晴松亭の立礼席に於いて取行なわれ、受賞者に賞状と奨励金二十万円が贈呈された。(敬省略)

今年度の財団賞は理事会での厳選な審査の上で次の様に決定しました。

● 市民ちえちりあ 代表 稲富健一郎
「ガラコンサートと落語ペラの夕べ」

● ひょうげ祭り保存会 会長 横川武弘
推薦 香川町教育委員会

県下でも有名な祭りのひとつであるが、古くから伝わる祭りをふるさとの文化遺産として永く発展させるために保存会を設立し、会員を中心に積極的に活動された結果である。

● 高松コンサート協会 代表 岡田 寛
「臼杵美智代 & 下野戸亜弓
ジョイントリサイタル」高松公演

● 森 武 (多度津町)
推薦 塩本通陽・樋出千鶴子

讃岐の伝統凧の制作(特に武者絵)を中心には、多度津の全国凧あげ大会の主催や凧作りの講師等、警察官としての勤務の合間に利用してボランティアで活躍されている。

また、三月に既に決定し、今回認定証を授与された今年度助成金交付団体は、次の二団体です。

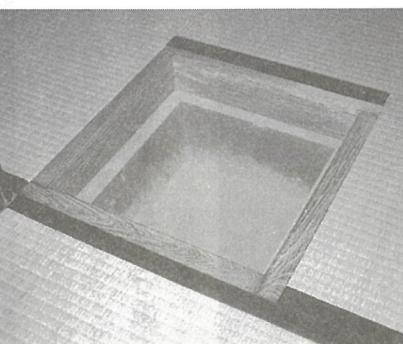
森 武 (多度津町)
推薦 塩本通陽・樋出千鶴子

マリンバをはじめ邦楽打楽器、サスカイト奏者としても第一人者である高瀬町出身の臼杵氏と筝三絃の下野戸氏が「サヌカイトと邦楽器のための全曲委嘱作品」を初演する企画。東京・高崎に続く高松公演は、十一月八日アクトホールに於いて実施され、柴田玲子氏(高松短大教授)作曲の組曲「生命の森」ほか、全六曲が新たに誕生した。

美藻庵点描

六、炉

(二) 炉の起源



紹鷗の時代になつて「南方本録滅後の巻」にあるように、『紹鷗四畳半に炉ありといえども、未だ炉の広狭不定、釜の大小に隨いて切られし也。休公と相談ありて二畳敷出来、向炉隅炉に台子の曲尺を取つて一尺四寸の炉を切られ、其後四畳にも田舎間四畳半には一尺三寸、京間には一尺四寸也』とされてい。紹鷗や利休の時代に炉の寸法が決定したのであるが、珠光時代にも炉の平面を定める上においてもっとも重要な役割をなすものである。

一般助成金交付基準

- 助成対象文化団体は、下記(1)(2)(3)いずれかに該当する団体とする。
 - 文化団体を設立後5年未満の団体
将来的に香川県における文化発展に寄与することが予想されるもの
 - 既存の文化団体で新しい方向付けを目指そうとしている団体
既存の文化団体で、過去の殻を破り新分野での活動を目指している団体
 - 未分野の開拓に努力しようとしている団体
他の文化団体が手がけていない未分野の開拓を手がけている団体
- 助成対象は、茶華道・芸能・音楽・美術・工芸・その他いずれかの分野に該当するものとする。
- 助成対象事業は、次の要件がすべて適合するものとする。
 - 香川県の芸術文化の振興発展に真に役立つと認められ、かつ経済的に助成を必要とするもの
 - 明確な会計経理を実施・報告できるもの
 - 冠公演(展覧会)でなく、また特定の団体等の宣伝を目的としないもの
 - 助成決定の場合、ポスター・チラシ等に財団助成の旨を表示できるもの
- 事業実施時期は、毎年4月1日から翌年3月31日までのものとする。
- 助成を受けようとする団体の代表者は、別紙助成金交付申請書(様式第1号)により、次年度の該当事業について1月末までに財団宛提出するものとする。

文化活動団体

茶事体験レポート——十月・名残りの侘びを楽しむ

「夕ざり」の茶事

とき 平成十三年十月五日・六日

主席 武者小路千家家元教授 三宅守真

◆十二月月釜「臘八茶会」
とき 平成十三年十二月二日(日)
処 美藻庵・晴松亭

席主 裏千家 香西宗清
内容 点心席・濃茶席・薄茶席

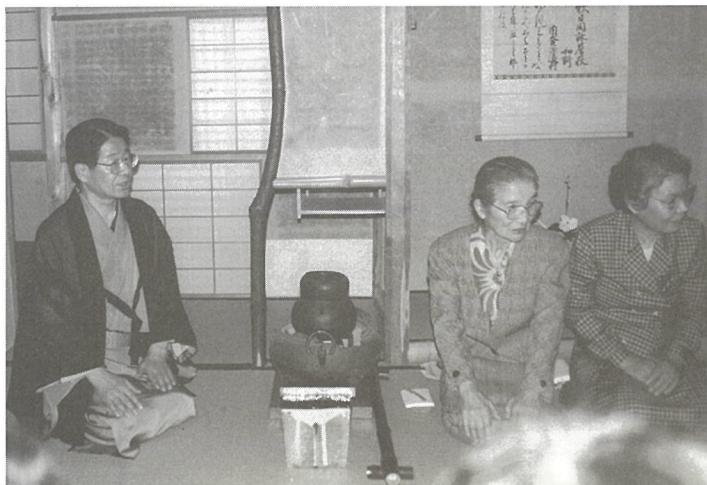
秋にNHKテレビ趣味「懐石の心にふれる」が放映されました。ご覧になつた方も多いと思いますが、番組に特別の親しみを感じたのは、講師の先生が国立民族博物館教授の熊倉功夫氏であつたからでしょうか。熊倉先生は当財団の学術文化振興特別助成事業「あ・うんの数寄講座」に二度ご来演していただき、ソフトでわかりやすい話ぶりで聴衆をすっかり魅了してしまいました。

特に今年の九月二十二日、アクトホール（香川県県民小ホール）でのご講演はまだ記憶に新しいことでしょう。懐石はお茶をおいしく飲んでいただく前の「ちよっと、虫押さんの軽い食事」といわれますが、お茶を習いだした頃にお菓子が楽しみだったように、茶事の慣れはじめの魅力は懐石料理のご馳走だと言えば、道に外れた幼稚な表現になるでしょうか。それはともかくとして、武者小路千家元教授三宅守真宗匠が「名残り」をテーマに夕ざりの茶事をもつて懐石を中心いてレポートしてみました。寄付で相客同士の挨拶に、十月とはいえ今日の暑さでは袷（あわせ）の着物がつらいわねという台詞もあって路地の

腰掛待合に出ました。何事も正客に習つての所作が進んで道具の拝見になりました。灰がきつぱりと深く、懐が大きく堂々とした「鉄欠風炉」に炭がつかれ、香木が清々しい氣を満たして懐石が始まりました。

飯、汁、向付を載せた折敷が人数分だけ運ばれると亭主は敷居の外で「どうぞ、お取り上げを」と挨拶して静かに襖を開められました。飯碗の蓋を取ると、ほんの三口ほどのご飯が炊きたての甘い香を放ち、焼茄子の合せ味噌仕立ての汁があいまいな季節を物語っています。やがて一献目のお酒が注がれ、向付の二杯酢の昆布押し鯛に箸を進めます。煮物椀は焼きハモに松茸と水菜。熱い柚子皮が香って食する前の味わう美味なる演出、取りまわしの大皿に盛られた焼物のカマスと雲丹を浸け焼き、塩焼きと味に変化を持たせた工夫など気遣いが随所に見られます。

預鉢に盛った子持ち鮎、蓮根、菊菜、針生姜を、形を崩さないように用心しながら次々送りします。料理を向付や椀蓋に取り分けて器を流用するのは、簡素な心を大切にしているのでしょうか。強肴がつらいわねという台詞もあって路地の



◆一月月釜「初釜」
新春を寿ぎ 好例の釜を縣け 年賀の茶会を披かせていただきます。
当財団 茶の湯委員の方々が担当して下さりますが、濃茶席・薄茶席と共に本年も祝いの点心や福引等々、あれこれと楽しんでいただけますよう、準備を進めています。皆様のご参会をお待ちいたしております。

記

とき 平成十四年一月五日(土)
席主 薄茶席 立礼席 山地美津江(表千家流)

濃茶席 美藻庵 松野恵美子(裏千家)
点心席 広間 大内 泰雄(官休庵)
全七席 各席十八名様

席料 六千五百円

とき 平成十四年一月五日(土)

席主 薄茶席 立礼席 山地美津江(表千家流)

第一席 九時~十一時三十分

第二席 九時五十分~十二時二十分

第三席 十時四十分~十三時十分

第四席 十一時三十分~十四時

第五席 十二時三十分~十四時五十分

第六席 十三時十分~十五時四十分

第七席 十四時~十六時三十分

行事予定(十一月～一月)

◆二月月釜「御香席とお茶会」

立春の春の光を感じさせる初花月のお香会を披かせていただきます。

三條西古都先生をお迎えし 大宮人のつくりあげた「おおらかな」香りの芸術に ひたる楽しさと雅びやかな、

◆二月月釜「御香席とお茶会」
立春の春の光を感じさせる初花月のお香会を披かせていただきます。

三條西古都先生をお迎えし 大宮人のつくりあげた「おおらかな」香りの芸術に ひたる楽しさと雅びやかな、

Oh! 茶Gai!

その⑩



「静と動のバランス感覚かな?」お茶を習い始めた動機は?という質問にこう答えたのは、高松市内の証券会社にお勤めの藤原倫子さん。学生時代はサイクリング部に所属して、北海道まで走りに行つたという行動派の彼女にとって、大学2年生の時に誘われて通いだしたお茶の教室は新鮮な驚きだったみたいです。更に3年生の時、学生茶会の亭主をつとめた事による緊張感と達成感でさらに病みつきになつたそうです。今では「体が勝手に動く」状態で、仕事のストレス解消にも役立つているとか。

仕事は今が一番厳しい時期。さすがに株価が一円を割つた時には「もう辞めてしまおう」と悩んだそうです。でもお客様の温かい言葉に励まされる毎日だそうです。今年の夏からはフィットネスクラブにも通いだした倫子さん。心と体のバランスをうまく取つてこれからも頑張つて下さい。

喫茶居(十) 「ベニスにて」

二千一年イタリヤ年で歴史と観光の国へ出かけました。デザインの商都ミラノを皮切りに、古代を色鮮やかにめざめさせたポンペイまで、長靴半島の縦断旅行は壮観で楽しいものでした。

映画「ローマの休日」を真似てジェラードをなめ、食べきれないパスタの大盛りに驚き、トマトのおいしさを堪能と、旅の思い出に「異国の味」は欠かせません。そのきわめつけは、ベニスのサンマルコ広場でのティータイム。

寺院の鐘が鳴り響いて鳩が飛びたち、陽気な男の売

り声がかかります。乾いた靴音をたてる店先にテーブルが並び、香りたかいコーヒーが運ばれます。夜の中

廣場は多様な顔を見せて観光客を魅了します。

歴史の美を結集した水の都で、素敵なお茶の教室は

ノをいただきました。



(右頁より続く)

を一周して客たちから盃を受けるわけ

すから酒呑童子の苦行みたいでした。湯

斗と香の物が出て懷石は終ります。

庵に切れ味のよい隠し包丁が入り、食

べやすい配慮は最後まで続き、新蕎麦

粉の饅頭の上品な甘さを味わつて中立となりました。

外は日暮れて露地は夜咄の風情。

茶室の床の掛物は京都葵祭りで斎王代の乗る牛車を飾った紙の花に変わつていきました。太陽の光で花咲く植物の習性上、見ごろを夜に求めるのは無理と言ふもの。さればと、宫廷の貴女を思われる古(いにしえ)のみやびを床に飾つてゆかしいものです。

それと、もうひとつ。予期せぬ素敵

な演出がありました。濃茶が練られて茶碗が回りはじめ、緊張した座がほつと解けました。「えらい暑いですね。障子を開けてもらいましょうか」と三宅先生のやさしい京言葉に促されてそつと障子を開きました。すると、コオロギの鳴き声

が急に忍び込んで、なんとも優雅な秋の夜を庭と共有しました。

隣同士で「おいしいね」と幼い感想を言い合つことはあつても、ほとんど無言に近い懐石の席。しかし、「お相伴」や「ご一緒に」と、一座の連帯を深めたり、また、お運びの亭主と一緒に食べませんかと「お持ち出しを」と声を掛ける思いやりの言葉がたくさん交わされたことも、お茶の暖かな心を知る思い出になりました。

とき

平成十四年二月三日(日)

席主 香席御家流香道宗家 三條西古都

点心席 薄茶席 香雲会 野田法子

石州流 横井宗美

席料 六千五百円

定員 二十名

二月御香席・茶席のご案内

第一席 九時三十分~十二時

第二席 十時四十分~十三時十分

第三席 十一時五十分~十四時二十分

第四席 十三時~十五時三十分

第五席 十四時十分~十六時四十分

◆ 晴友会の皆様へ予告ご案内

昨年「京を楽しむ」として三友庵「塵外室」で美味しいお茶と一味違う懷石の点心を楽しみました。その時ご都合の悪かった方、又アンコールの方等いらっしゃるので、三月に再企画いたしておりますのでお待ち下さいませ。

◆ 当財団の月釜は、茶の湯の経験や、流派にこだわりなく、お気軽にご参加頂ければ幸いです。御香席の雅びさも初体験の方が楽しめるよう教えて下さいますので、お誘い下さいましてご参会下さいませ。

お申し込み、お問い合わせは、当財団事務局まで

TEL (087) 826-3355

FAX (087) 826-2212

●十一月は二十八日より一月三日迄休館といたします

イベントガイド

香川県庁ギャラリー(公聴広報課) ☎ (087)832-3022

- 12/3~7 同和問題啓発ボスター・パネル展
- 12/10~14 平成13年度明るい選挙啓発ボスター展
- 12/25~28 香川県陕西省青少年書道展
- 1/28~2/1 競書展
- 2/18~2/21 障害者の日ポスター作品展
- 3/25~29 緑化ボスター・書道入選作品展

香川県文化会館 ☎ (087) 831-1806

- 12/1~23 デュフィとエコール・バリーの精華
—大谷コレクション名品展— 9:00~ ●
- 12/15 講演会「パリの画家たち」 14:00~ ■
- 11/23~1/20 館蔵品によるイサム・ノグチ展 9:00~ ●
- 1/5~1/20 第48回 日本伝統工芸展 9:00~ ●
- <陳列品解説> (午後1時30分~) ■
- 【漆芸】太田加津子 (1/6)
- 【陶芸】酒井 芳人 (1/13)
- 【木竹工】小西 晃 (1/14)
- 【漆芸】西岡 春雪 (1/20)
- 1/12 講演会「漆芸における伝統技法の継承と再生」
講師 河田 貞 14:00~
- 2/2~24 ジョルジュー・ルオー「ビエロ」
—一枚の絵画から— 9:00~ ●
- 3/2~24 館蔵品による モノクロームの世界 9:00~ ●

香川県県民ホール ☎ (087)823-3131

- <グランドホール>
- 12/2 第10回「心の詩」コンサート 14:00~ ★
百十四銀行営業企画部 (TEL836-2929)
- 12/12 フジコ・ヒミング&ショコナショナル交響楽団 19:00~ ●
- 12/15 サモンプロモーション (TEL0120-499-699)
- 香川大学マンドリンクラブ第33回定期演奏会 17:30~ ●
- 香大マンドリンクラブ (TEL090-4781-5101)
- 12/16 香川県合唱祭「竹内肇物語」 13:00~ ■
香川県合唱連盟 (TEL822-5288)
- <アクトホール>
- 12/15 香川大学吹奏楽団第32回定期演奏会 13:30~ ●
香川大学吹奏楽団 (TEL090-9459-4767)
- 12/16 映画「地球交響曲」第四番上映会 14:00~ ●
- 四国カイヤネットワーク (TEL090-8282-6879)
- 12/18 ブラハ・パロックアンサンブル演奏会 19:00~ ●
- 高松コンサート協会 (TEL833-9510)
- 12/19 ツトム・ヤマシタ サスカイトコンサート 18:30~ ●
ネクサス (TEL825-9000)
- 12/21 ヴァリエ 第10回コンサート 18:30~ ●
ヴァリエ (TEL865-2310)
- 12/22 香川大学合唱団第45回定期演奏会 14:30~ ●
香川大学合唱団 (TEL090-1324-0950)
- 2/10 モーツアルト名作オペラガラスコンサート
14:00~・18:00~ 問い合せ先 (TEL822-5575)
- 2/17 Fragranza Concerto 13:30~ ■
～香川大学教育学部音楽研究室による～
問い合わせ先 (TEL090-2896-3860)

香川県歴史博物館 ☎ (087)822-0002

- <部門展示室> (大人400円)
- 10/30~1/27 水辺の祈り 9:30~ ●
- 12/19~1/27 馬づくし 9:30~ ●
- 11/28~2/3 瓦からみた藤原宮と地方豪族 9:30~ ●
- 11/28~2/3 文化財を科学する 9:30~ ●
- 1/30~3/31 歴代の群像 9:30~ ●
- ～松平家とその当主たち～ 9:30~
- 1/29~4/7 満濃池4～近現代の満濃池～ 9:30~ ●
- 2/6~4/7 末法の世 9:30~ ●
- ～救いへの祈り、そのかたち～ 9:30~
- 2/6~4/7 香川の薬業 9:30~ ●
- <歴史講座> (無料)
- 12/9 瓦からみた藤原宮と地方豪族 13:30~ ■
- 1/6 文化財の保存科学 13:30~ ■
- <歴史工作室>
- 1/12 和風づくり 13:00~ (500円) ●
- 2/9 勾玉づくり 13:00~ (600円) ●
- 3/9 かがり手まりづくり 13:00~ (900円) ●

香川県教育会館 ☎ (087)833-0013

- <ミューズホール>
- 12/15 香川大学ギター・アンサンブル 17:00~ ●
- 12/16 香川クラリネットグループ演奏会 14:00~
- 12/22 ズーズアン・シュロ人形劇 18:00~ ●
- 1/29 目で見る初級心電図セミナー 13:00~ ●
- 2/16 朝日ファミリー 朝日上方落語 18:00~
- 高松市教育委員会文化振興課 ☎ (087)839-2636
- 12/16 ふるさと探訪「由良山の山麓を行く」
(清水神社など) 9:30~ ■
- 12/16 第2回高松文化祭典(県民ホール) 13:00~ ●
- 3/2 市民会館これまでこれからまつり 8:30~

高松市美術館(休館日:月曜) ☎ (087)823-1711

- <企画展示室>
- 11/3~12/9 デュフィ展—ポンピードゥーセンター所蔵 9:30~ ●
- 3/1~31 クールベ展 9:30~ ●
- <エントランスホール>
- 12/2 コンドルズ 高松スペシャル公演 19:00~ ●
- <常設展示室>
- ~1/14 第4期常設展 9:30~ ●
- 「ユーモアと風刺」「音丸耕堂の世界」 9:30~
- 1/19~3/31 第5期常設展(テーマ未定) 9:30~ ●
- <貸館事業> (9:30~)
- 12/13~16 香川県高校美術展 (一般展示室) ■
- 12/21~24 第41回香川県教育文化祭展覧会(企画展示室) ■
- 12/21~24 平成13年度高松市教育文化祭展覧会 (一般展示室) ■
- 1/11~13 第15回観友展 (一般・企画展示室) ■
- 1/16~20 第86回「二科会高松巡回展」(一般・企画展示室) ■
- 1/25~27 第31回高松書道教員作品展 (一般展示室) ■
- 2/5~11 2002香川県美術家協会展(一般・企画展示室) ■

高松市觀光課 ☎ (087)839-2416

- 12/21~26 第15回高松冬まつり 高松市中央公園ほか ■
- 1/1 屋島山上初日迎式 屋島山上談古嶺 7:00~

菊池寛記念館 ☎ (087) 861-4502

- 12/1 文芸講座「小説と私」3階第一集会室 13:30~ ■
- 11/12 文芸講座「大正生命主義と文學」 3階第一集会室 13:30~ ■
- 2/2 文芸講座「自分史のすめ」 3階第一集会室 13:30~ ■
- 3/2 文芸講座「菊池寛の絶筆」 3階第一集会室 13:30~ ■

高松市歴史資料館(休館日:月曜) ☎ (087) 861-4520

- 12/15~1/14 高松市歴史21景展(仮称) 9:00~
- 1/26~3/10 第29回特別展～近世の高松画壇(仮称) 9:00~ ●

高松テルサ ☎ (087) 844-3511

- 12/2 第12回ピアニッシモコンサート (TEL079-25-0812) ■
- 12/8 高松第一高等学校 (TEL861-0244) ■
- 12/9 ピアノ発表会 (TEL866-2912) ■
- 12/15 日比ピアノ教室発表会 (TEL843-4059) ■
- 12/16 ピアノ発表会 (TEL844-2841) ■
- 12/22 クリスマス・ファミリーコンサート (TEL822-5575) ■
- 12/23 高松短期大学第12回 OB演奏会 (TEL843-1374) ■
- 12/24 ピアノ発表会 (TEL889-6965) ■

高松市立市民会館 ☎ (087) 839-2888

- <大ホール>
- 12/5 小野リサコンサート 19:00~ ●
- 12/6 第33回食とみどり、水を守る全国集会 13:30~ ■
- 12/15 高松市民クリスマス 19:00~ ■
- 12/16 BOOWY 1224 FILM 12:00~・15:00~・18:00~ ■
- 1/6 平成13年度 高松市教育文化祭音楽会 (小学校) 13:00~ ■
- 1/7 石川さゆり コンサート 14:30~・18:00~ ●
- 2/17 香川地区ロータリークラブ インターシティミーティング 13:00~ ■

高松市国際交流協会 ☎ (087)837-6003

- 12/16 ザ・ワールド・チャット アイバル香川 1月 お正月会

玉藻公園管理事務所 ☎ (087) 851-1521

- 12/7~9 第2回萌芽展 披雲閣
- 2/17 菊作り講習会 披雲閣
- 3/20~24 第21回趣味の古木展 披雲閣
- 3/24 第24回新樹川柳大会 披雲閣

NHKふれあいギャラリー ☎ (087)825-0151

- 12/4~9 チャリティあみもの作品展 ■
- 12/11~16 玉藻きりえ会 チャリティ展 ■
- 12/18~23 美術教室—D子供教室作品展 ■

瀬戸内海歴史民族資料館 ☎ (087)881-4707

- 11/23~3/3 「発掘された農工具」 9:00~ ●
- 3/9~9/1 「川船の風景」 9:00~ ●
- <講演会>
- 2/9 講演会「海の道・信仰の道」 香川県文化会館 14:00~
- <土曜講座>
- 12/1 講座「発掘された農耕具—稻作文化の歴史をたどる」 14:00~ ■
- 2/23 講座「海をつなぐ一宇高航路と連絡船」 14:00~ ■
- 3/16 講座「川船のかたち」 14:00~ ■

財団法人四国民家博物館 ☎ (087)843-3112

- <四国村 入館料:800円>
- 12/9 四国村まるごと体験!お正月用のしめ縄 づくし 石藏ギャラリー 13:00~ ■
- 1/1~1/3 振舞酒(甘酒) 河野家 10:00~ ●
- 1/1~7 正月飾り(再現・展示) 8:30~ ●
- 1/14 どんど焼き 第二駐車場 10:00~ ■
- 一年の家内安全、無病息災を願って 正月用のしめ飾りを焼きます。
- 1/14 鏡開き(せんざいを配ります) 11:00~ ●

三越高松店 ☎ (087)825-0495

- <本館 5階美術画廊>
- 12/4~10 現代工芸四国展 10:00~ ■
- 12/11~17 小泉守邦洋画展 10:00~ ■
- 12/18~24 嵐辰版画バザール展 10:00~ ■
- 12/25~30 新春用掛軸展 10:00~ ■
- 12/31~1/7 木村玉舟展 10:00~ ■
- 1/8~14 山本文彦油絵展 10:00~ ■
- 1/15~21 博多織人形展 10:00~ ■
- 1/22~28 榎木孝明展 10:00~ ■
- 1/29~2/4 上村淳之展 10:00~ ■
- 2/5~11 奥田英山展 10:00~ ■
- 2/12~25 期末特別 日本画洋画展 10:00~ ■
- <新館 5階催物会場>
- 12/18~21 四国新聞チャリティ展 10:00~ ■
- 1/8~13 第21回香川いけばな展 10:00~ ■
- 1/8~13 唐津焼13代中里太郎右衛門展 10:00~ ■
- 1/14~20 第50回春の洋蘭展 10:00~ ■
- 1/22~27 第32回趣味のお店お洒落な店 手づくり作品展 10:00~ ■
- 2/5~10 みんなの生活展 10:00~ ■

香川興産株オリーフホール ☎ (087)861-0467

- 12/2 「演劇公演」香川大学劇団エンブティ
- 12/8・9 「ダンス公演」シユーブーム・ダンス・ロンパニー
- 12/13 「ボニーピンク」ライブ
- 12/26 「マッドカバセルマーケット」ライブ

ギャラリーアコステージ ☎ (087)841-8200

- 12/1~25 黒田倫代展 15:00~19:00 ■

四季ギャラリー ☎ (087)822-9010

- 12/1~29 井川グループ写真展(インド仏跡の旅) 7:30~ ■
- 1/4~31 竹村直美 5人展 油絵・日本画・写真・木工芸 7:30~ ■

セントラルホールウイング ☎ (087) 833-0005

- 12/1 「禪を書きく会」 曹洞宗四国管区教化センター (TEL0879-41-4177)
- 12/16 「お遊戯会」 敬愛保育園 (TEL831-6778)
- 12/23 「フレンチソングライブ」混諸流人 in TAKAMATUJ コンサート 18:00~ 混諸流人 徳永 (TEL0797-72-8036)

細川商店3Fギャラリー ☎ (087)821-0588

- 12/6~28 上田泰江ドローイング展(鳥取出身) 日展8回入選 10:00~ ■

宮武画廊 ☎ (087) 851-2354

- 11/26~12/2 佐藤礼子水彩画展—五剣山の秋— 9:00~ ■ 問い合わせ (TEL894-3827)
- 12/3~9 第38回高松フォトクラブ写真展「雨の風景」 9:00~ ■ 問い合わせ (TEL833-7352)
- 12/10~16 丸尾玉琳絵画展 9:00~ ■ 問い合わせ (TEL845-3025)
- 12/17~23 30周年記念 孝寿富行と紙人形展 9:00~ ■ 問い合わせ (TEL0877-45-4216)
- 12/24~30 第18回川田忠義個展(水彩画) 9:00~ ■ 問い合わせ (TEL0879-25-0630)
- 1/3~6 2002観友会グループ展 9:00~ ■ 問い合わせ (TEL831-0456)
- 1/7~13 「らくらく下り坂人生」出版記念絵画展 9:00~ ■ 問い合わせ (TEL898-3810)
- 1/14~20 「農業香川」表紙絵原画展 9:00~ ■ 一小野正統氏イラストと本県農業の歩み— 問い合わせ (TEL831-1111 (3751))
- 1/21~27 香川大学美術部卒展 9:00~ ■ 問い合わせ (TEL090-7572-8999)

ヨンデンスラザ高松 ☎ (087)851-3863

- 12/1~2 第8回ラ・創夢ステンドグラス作品展 大豊俊子 (TEL843-7269)
- 12/11~16 二科会写真部 香川支部展 中北満雄 (TEL866-2333)
- 12/18~23 まんでがん讃岐の土 素人作陶展 天川明徳 (TEL835-2177)

鞆・安国寺と尾道・浄土寺を巡る

とき▼平成十三年十一月十九日(月)

参加▼会員四四名

瀬戸内海のほぼ中央にあたり、古くから潮待ちの港として栄えた鞆の浦は広島県福山市にあり、高松からバスで約一時間半くらいのところです。戦災をまぬがれた海沿いに開けた街並は江戸時代そのままといった風情で、道も狭いので車は自由に走れません。また驚くほど寺が多く、(現在十九カ所)今回はその中でも、鞆の大寺(おおてら)と呼ばれた備後の安国寺で精進料理を頂くという企画を友の会の方よりご推薦頂き、アレンジ致しました。当初の予想を上回るご希望もあつて大型バスで移動することとなりました。



さて、朝八時三〇分に晴松亭を出発したバスは、途中坂出に寄って、瀬戸大橋を渡ります。天気は快晴。絶好の秋晴れです。十時四〇分頃、鞆の港で地元の奥様ガイドの方と合流、徒歩で街の散策。まず訪れたのは「対潮楼」。往時、朝鮮通信使節一行が宿泊し、「日東第一形勝」と讃えられた大広間からの景色について、福禅寺ご住職より説明をして頂きました。正面に広がる仙酔島と弁天島を中心としたパノラマが実は「こよみ」となっていること。「冬至から夏至

へかけて太陽が景色の右端から左端に移動して、途中立春と立秋には中心にみえる弁天島の塔婆の真上で月と出合つて振り分ける」としばし美しい海を眺めました。

その後、解体された福山城で作られた家々や石置の露路をめぐり、特産の保命酒の試飲を楽しみながら安国寺へ至る。安国寺の歴史は、臨済宗法燈国師を開山として十三世紀に始まり、足利幕府の政策で改名されたそうです。早々、精進料理を頂き秋の味覚を堪能し、お茶室にてお薄を頂いてほつと一息。はし袋の「食事五觀の偈」に、改めて感謝しながら寺を後にしました。

午後三時前頃、バスは尾道の浄土寺に到着。足利尊氏が戦運挽回を祈願した話は有名で、寺紋は安国寺と同じく足利氏の二引き両の紋が使われていました。

国宝となつてゐる金堂、多宝塔を始め、多くの文化財が残されていますが、今回は特に秀吉が伏見城内に建てた茶室燕庵を移築したと伝えられる露滴庵の拝観ができました。入母屋造、三畳台目の茶室、相判席、水屋よりなる本席と四帖、四帖半の勝手、台所からなる織部好みの形式で、桃山時代の創建(重要文化財)のことです。また、寺蔵の古絵図を基に作庭された庭園は自然の山腹を利用して、麓は白砂敷の平庭とし多くの石や小滝を配した築山泉水庭で、それらを眺めながら方丈で、栗の入ったいのこ餅とお茶を頂き、忙しい中でもゆっくりとしたのは「対潮楼」。

広間からの景色について、福禅寺ご住職より説明をして頂きました。正面に広がる仙酔島と弁天島を中心としたパノラマが実は「こよみ」となっていること。「冬至から夏至

したので会員の皆様にもご好評を頂きました。



1st STAGE
平成13年12月23日(日)香川県県民ホール

グランドホール 17:30開場 18:00開演

2nd STAGE
平成14年2月10日(日)三木町文化交流プラザ

17:30開場 18:00開演

チケット

前売り 1,800円
当 日 2,000円
ペ ア 3,000円

チケット発売所

- タマル本店 ●ローソンチケット
- 劇団事務局 Lコード
- 中條文化振興財団 TEL826-3355
- 各レコード店 (12月・県民ホール公演 66207
2月・三木町公演 66208)
- オオサカヤ 観音寺店、郡家店

劇団事務局 香川県大川郡津田町公園通り中川建材店内 TEL0879-42-3567

編集後記

伝統文化を守り育てるというのではなく、文化的なコンセンサスの上で動くべきだと思うが、まじめに積極的に行動する者がバカをみると云つた事が小学生の間ですら常識となつてゐる現状ではマニュアルを手離すことなどおぼつかない。我々が日本人らしく、心豊かにくらしていくためには、アイデンティティーの再構築が必要だと思うが、伝統的な文化や技術の再評価はその最も有効な方法となるのではないかと思う。逆風経済がひとつのチャンスとなることを願いたい。

【声・情報お寄せください】

〒760-0017 高松市番町二丁目一一一二
(財)中條文化振興財団編集部
TEL(087)826-3355
FAX(087)826-2212